

平成30年度 事業報告

我が国は、人口減少・少子高齢化がさらに加速し不安定な経済状況の中、発展成長への実感をもてないまま景気は後退局面に入ったのではないかとの見方もあります。政府は日本経済は緩やかに回復しているとの見解で消費税10%への移行を控え、国における経済対策の効果がデフレ脱却への大きな打開策となることが期待されています。シルバー人材センター事業を取り巻く環境は厳しい時代となっておりますが、町行政当局をはじめ国・県及び連合会等関係各機関のご指導・ご支援をいただきながら活動しているところです。会員皆様が基本理念に則り活力ある地域社会づくりに貢献され、「自主・自立」、「共働・共助」のもと御活躍いただいていることに対し深く感謝申し上げます。

事業運営面で、受託事業として会員数239名、契約件数1,696件、就業延日人員13,960日人、契約金額72,420千円、就業率は81.6%という実績となりました。また、労働者派遣事業では、契約件数84件、就業延日人員5041日人、契約金額37,422千円でした。事業内容は、地域就業機会創出・拡大事業及び高齢者活用・現役世代雇用サポート事業等の推進に取り組み、人手不足分野職種における労働力の補完等を目指し地域に密着した事業開拓に努めております。独自事業の取り組みでは、会員皆様による積極的な活動がすすめられ地域社会に喜ばれる成果を上げております。厳しい財政状況下ではありますがシルバー人材センターの役割は、会員皆様の能力と長年培ってこられた知識経験を十分に発揮し、活躍し続けることができる「生涯現役社会」の基盤を支えることを目指し事業活動が図られております。高齢社会がさらに進展する中、シルバー事業発展のため会員増強拡大及び就業機会開拓強化に取り組みなければなりません。

安全就業面において就業中のケガや途上の交通事故防止について、毎月の事務局だよりや安全就業だより等で積極的に呼びかけております。特に安全パトロール巡回点検指導を実施し注意喚起しているところでもあります。安全保護具等着用徹底や交通安全講習会・機械安全取扱い講習会等を開催し事故撲滅を目指してまいりましたが、就業中の物損事故が2件発生いたしました。「安全はすべてに優先する。」という基本理念をモットーに、会員の皆様が安全第一を念頭に活動していただきますようお願いいたします。

我が国の高齢化はますます進行し、併せて総人口の減少も進むことが見込まれております。今後は、上部団体や関係機関等との連携をさらに深めながら、皆様とともに地域社会就業ニーズの多様化に充分対応しながらシルバー人材センター事業の発展拡充を目指し高齢者の生きがいをづくりと労働能力活用推進のため、地域社会貢献のできるセンターづくりを目指してまいります。

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。